

2022年度

ニュージーランド 留学報告書

実習先： ワイカト大学

実習期間： 月 日 ～ 月 日

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21020112
氏名：山田央人

目次

1. 留学先及び留学期間	3
2. 留学先概要	3
3. 留学目的	3
4. 留学内容	3
4-1. 留学のスケジュール	4
4-2. 留学の詳細	5.6
5. 当初目的・目標への達成度	6
6. 反省点・課題	6
7. 謝辞	6

付録

留学日誌と文化について	7
-------------	---

1. 留学先及び実習期間

留学先：ワイカト大学

実習期間：令和元年9月18日(木)～1月20日(木)

※帰国は1月21日(金)

2. 留学先概要

(1) 大学について

ワイカト大学(The University of Waikato)は、ニュージーランド北島・ハミルトンにある国立大学である。1964年に設立された国立総合大学で、大学には約12,000人の学生が通っており、内留学生は約2000人。学部は、人文社会学部、コンピューター数理学部、教育学部、健康・スポーツ・ヒューマンパフォーマンス学部、法学部、マオリ・先住民族、理工学部、経営学部がある。キャンパス内には、カフェやスポーツジム、薬局などといった様々な施設が用意されている。

(2) 大学で行われている教育について

ワイカト大学は留学制度が充実している。その中に、WPC(Waikato Pathways College)と呼ばれるものがあり、WPCの英語プログラムは、多国籍の学生で構成されるナショナル・クラスである。テストもしくはIELTSのスコアでクラス分けを行い、個々のレベルで学ぶことが出来る。また、一般英語コースとアカデミック英語コースがあり、本学の派遣留学生は、このプログラムに参加した。2つのレベル別のクラスに分かれて授業を受けた。日本人以外にも中国、サウジアラビアなどの留学生も同じ授業を受けた。

3. 留学目的

今回の留学における個人的な目的は、英語力特にコミュニケーション力の向上や異文化理解を深めることである。日本での英語の勉強はリーディングやリスニングなどが中心であり、普段から英語を話すことが少ない。そのため、今回の留学で実際にネイティブの先生や学生とコミュニケーションをとり、英語の環境に身を置くことで、リスニング力やスピーキング力そして、コミュニケーション力も身につくのではないかと考えた。また、ホームステイを行うことで、ニュージーランドの文化を普段の生活から間近で体験することが出来ると思った。

留学内容

以下から留学内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4-1. 留学スケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日	内容
9	18	到着、PCR 検査、ホームステイ開始
	19	授業準備、説明会
	20	一般英語コース 授業開始
	23	PCR 検査
10	1	Hobbiton Movie Set Tour
	8	Waitomo cave
	10	Maori Study
	11	Maori Study
	25 -27	アカデミック英語コース オリエンテーション週間
	31	アカデミック英語コース 授業開始
12	17	Christmas and New Year Holiday
1	-3	
	4	授業再開
	20	スカイシティーホテル 前泊
	21	出国・帰国

時間割

午前・午後の授業にはそれぞれ 15 分休憩がある。

金曜の午後のクラスでは、2 クラス合同で行われる。

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	9:00 ～ 12:00	GN/AC	GN/AC	GN/AC	GN/AC	GN/AC
昼 休 み	12:00 ～ 13:00					
午後	14:00 ～ 15:00	GN/AC	GN/AC	GN/AC	GN/AC	GN/AC
	15:00 ～ 16:00					English club

4 - 2. 留学の詳細

<授業概要>

・GN(General English)

一般英語プログラムでは、主に、日常生活で使う英語の習得を目指し、4 技能をバランス良く学習する。

・AC(Academic English)

GN で築いた英語力をもとに、英語圏の大学・大学院進学やその後のキャリアにも活かせるアカデミックな英語を学ぶことが出来る。8 レベルに分かれ、上級レベル 6 (info5.5 以上)で学部の授業も聴講可能。

教科書を用いて文法を学んだ。また、ペアワークが多かった。ペアで行うプレゼンテーションもあった。

・English club

毎週金曜日にあり、現地の学生と留学生がフリートークをして交流する。て学んだり、パーティーと開いたりした。

4. 当初目的・目標への達成度

この留学での目的は、英語力特にコミュニケーション力の向上や異文化理解を深めることであった。留学前と比べ、留学中には、ホームステイファミリーやネイティブの

先生、そして現地の学生と交流することでリスニング・スピーキング力を飛躍的に向上させることが出来た。普段の生活から英語を使うことで、英語に慣れることが出来た。そして、授業やホストファミリーから、Maori や ki-wi カルチャーを学ぶことが出来、異文化を肌で感じる事が出来た。

5. 反省点・課題

自分から積極的に会話で発言したり、イベントに参加したりすることが如何に重要なのかを留学を通して学ぶことが出来た。そして、現地に着いた初めの方ではそれが出来ていなかった。その為、自分に自信を持ち自発的に行動していきたい。

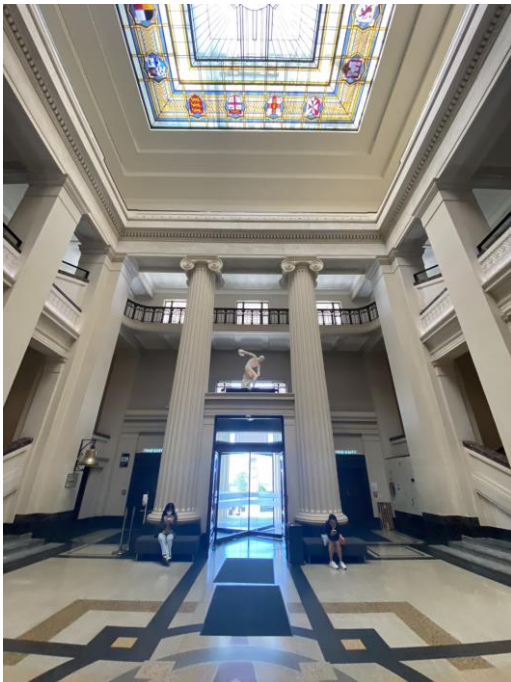
6. 謝辞

今回お世話になったワイカト大学の先生方、その他今回の留学に携わっていただいた新潟国際情報大学の先生方、本当にお世話になりましたことを感謝いたします。そして、新潟国際情報大学からの奨学金により留学することができました。また、両親や支えていただいた方々に心よりお礼申し上げます。この度は誠に有難う御座いました。

6 付録：留学日誌

<Auckland Trip>

Hamilton から離れた、Auckland へ現地の学生と観光をしてきた。Auckland では、遊園地やミュージアムへ行ったり、クルーズに乗ったり様々な観光をした。Auckland の街並みは、とても綺麗だった。





〈Summer Christmas〉

ニュージーランドは南半球に位置しているため、12月は夏であり、初めて夏のクリスマスをお過ごした。



